

令和7年度に向けて

# 戦後80年の節目の年 14万市民の命を守る施策を強化するとともに 平和への思いを次世代につないでいきたい



武蔵野市長 小美濃安弘

令和7年は、昭和でいえば100年、第2次世界大戦終結から80年、さらに阪神・淡路大震災から30年という節目の年に当たります。

戦時中、武蔵野市では国内最大級の航空機エンジン工場であった「中島飛行機武蔵製作所」が米軍による空襲の標的となり、多くの尊い命が失われました。今の平和がこうした犠牲のもとにあることを再認識するとともに、歴史を次世代に伝えていく責任を改めて感じています。令和7年度は三鷹市との連携事業など、平和に関する取り組みをさらに充実させてまいります。

## 市民の命を全力で守る！

### 防災・防犯対策のさらなる推進

昨年は能登半島や宮崎県日向灘で大きな地震があり、災害対策の重要性を痛感させられました。令和6年度は、

市長就任時に公約であった家具転倒防止対策に取り組みました。令和7年度は、より実効性の高い防災訓練や在宅避難の推進など、防災対策をアップデートしてまいります。

また、防災に加えて「まちぐるみで犯罪ゼロ」を目指して防犯対策にも力を入れたと考えています。昨年は、闇バイトとの関連が疑われる強盗事件が近隣市でも発生し、不安に思われた市民の方も多かったのではないのでしょうか。防犯カメラやカメラ付きインターネットホンの設置など、住まいの防犯対策を強化していただき、まち全体の防犯性を高めることを目指します。

私が子どもの頃には、隣近所の人付き合いなど、「地域の力」が防犯にもつながっていたと感じます。まち全体の防犯性という意味では、今の社会に合った「地域の力」を高めていくことも必要だろうと考えています。

### オール武蔵野で医療危機を乗り越える

令和7年度には、いわゆる団塊の世代の方々が全員75歳以上となりますので、医療・福祉・介護などについては、さらなる強化が必要です。特に地域医療の分野では、「オール武蔵野」で現在の危機的状況を乗り越えていかなければなりません。吉祥寺地域では、病院の閉院などによりこの10年で病床が330床以上も減少しました。課題はありますが、市民の命と健康を守るため、新たな病院の整備に向けてできる限りの支援をしてまいります。

### 平和や安全・安心な暮らしを次世代につないでいきたい

11月に30周年を迎える「ムーバス」

は、コミュニケーションの先駆けで、市

民の足として親しまれています。私も、30年前に初めてまちを走るムーバスを見た時の感動をよく覚えています。今年30周年記念事業の実施やバス停の利便性向上を図るなど、さらに皆さまに愛されるムーバスを目指します。

1月には埼玉県八潮市で大規模な道路陥没事故が発生しました。本市の下水道施設も法定耐用年数を迎えていますので、道路や下水道施設などの適正な管理や予防保全に努め、計画的な修繕・改築を進めているところです。時代に合わせた新たな取り組みを進めながらも、平和や地域のつながり、安全な都市基盤など、地に足をつけて守らなければならない大切なものは守り続けます。さらに、これらを次世代につなぐことを意識しながら、市民の皆さまがより安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。